

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等ディサービス スターズ		
○保護者評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年2月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年2月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い庭、近くに海がある。	広い庭で野外キャンプ活動実施。近くの保育所や支援学校生が立ち寄る場となっており、交流もできている。近くの海や観光資源などに出かける活動。自然に触れ合う機会を持っている。海岸清掃(海岸レスキュー)実施	○地域交流の場として施設を開放する。○海岸清掃(海岸レスキュー)実施しているが、今後は地域やほかの団体と共同での実施も取り入れたい。
2	異年齢集団：年齢層が広い。	活動内容・目標設定に工夫している。リーダー性を要する学年が個人かに応じて役割分担している。年上の利用者がモデルとなり、見本となっている。年少の利用者も見通しが持てるようになっている。	○視覚的支援の提示 ○教室のシステム化(活動の動線を明確に示す) ○さらに充実を図るために、ボランティアスタッフや施設外の方との交流を得て、リーダー性を目覚めさせた。
3	地域社会との交流。社会経験を積む活動。 保護者支援、保護者同士の交流の場の設定	アンカリモーレ(能郷町秋名での月1回イベント)に参加。利用者の特性に応じ、買い物や郵便局に行ったりなど、社会経験を積む機会を設けている。 夏祭り、周年祭、クリスマスコンサート実施。 年3回保護者会を設定して、ワークショップを通じて交流の場を提供している。	○就労就職に向けて、地域の企業や団体の見学、訪問、交流を計画する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の場所を借りている関係上、個別の部屋や空間を確保することが難しい。	借家である為、また成人のキャンプ施設であるため。	送迎車の座席を収納し個別空間として活用したり、別棟の事務所階下を活用して個別空間として使ったりと、必要に応じて対応している。また、事業所移転を控えているため、今後改善される見込み。
2	トイレとシャワールームが離れた場所にある。トイレに行くまでに段差がある。	借家である為、また成人のキャンプ施設であるため。	手摺を設置している。段差を解消するために台を設置している。車椅子の出入りをほかの出入り口からするなど対応している。
3	送迎の際、屋根が無いため雨天時などの影響を受けてしまう。	借家である為、また成人のキャンプ施設であるため。	強風の際は別棟のガレージで降車している。ブルーシートを使用し雨除けをする。